

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	23191
事業名	病後児デイサービス事業費					
評価担当課	所 属	子)子育て支援 施設運営課			電話番号	011-211-2986
施策名	多様なニーズに応じた保育サービスや、児童が放課後に過ごす安全					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	本市は平成11年から本事業を開始し、平成21年からは病児対応型・病後児対応型・体調不良児対応型の3類型ごとの運用方式となっている(本市においては、令和5年度時点で全て病後児対応型での実施)。令和5年度時点で市内7施設(定員計28人)で事業を実施しており、年間の利用申込人数約3,700人に対し、年間の延べ利用児童数が約1,500人であり、定員超過等の理由で約1,000人が利用することが出来なかった(残り1,000人程度は当日キャンセルなど。)
	事業内容(何を実施し)	子育てと就労の両立を支援するため、子どもが病気の際、就労などで自宅での保育が困難な場合に、医療機関に併設・付設した施設で一時的に保育する。施設において、保育士及び看護師が病気の児童の保育、看護、給食の提供等を行う。 1. 対象児童:生後5か月から小学校6年生まで 2. 実施施設数:7施設(全て病後児対応型) 3. 定員:各施設4人(計28人) 4. 保育日:月曜日から土曜日まで(祝日、12月29日から1月3日を除く) 5. 保育時間:午前8時から午後6時まで 6. 令和5年度延べ利用者数:1,552人
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	安心して子どもを生み育てられる環境の充実を目的とする。
	他都市の状況	全政令市が病(後)児保育事業を実施。 さっぽろ連携中枢都市圏全12市町村中6市町が病(後)児保育事業を実施。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	63,660 千円	うち特定財源	37,131 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度予算額	82,000 千円	うち特定財源	46,446 千円	正規職員業務量	0.35 人工
令和5年度決算額	67,622 千円	うち特定財源	36,625 千円	正規職員業務量	0.35 人工
令和6年度予算額	112,000 千円	うち特定財源	74,016 千円	正規職員業務量	0.35 人工

指標	アウトプット活動指標1	病児・病後児保育事業実施施設数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		7施設	8施設	7施設	8施設	9施設	10施設
	↓						
	アウトカム成果指標1	利用申込人数に対する、実際に受け入れできた人数の割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		58%	65%	60%	70%	75%	80%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	新規開設の打診を行った医療機関からは採算面・運用面で開設が難しいとの声があったことから、課題解決を図りながら医療機関との交渉を継続する。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	従来の病後児対応型の類型に加え、新たに病児対応型の類型を追加。
来年度以降の方向性	利用者の利便性向上等を図りながら、引き続き実施可能な医療機関に対して新規開設に向けた働きかけを行っていく。